

CsvDocumenter サンプル解説

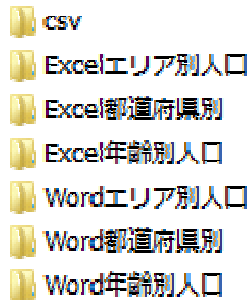
Word 版

1 CsvDocumenter サンプル 実行の準備作業

ダウンロードした ZIP ファイルを展開し、展開した ZIP ファイル内の「サンプル」フォルダを、任意の場所へコピーします。 ※デスクトップなど利用しやすい場所へコピーしてください。

①サンプルフォルダの内容





「サンプル」フォルダ内は以下のフォルダで構成されています



- ・ csv : csv データファイル
- ・ Excel エリア別人口 : CsvDocumenter で使用する、レポート雛型や定義ファイル一式
- ・ Excel 都道府県別 : CsvDocumenter で使用する、レポート雛型や定義ファイル一式
- ・ Excel 年齢別人口 : CsvDocumenter で使用する、レポート雛型や定義ファイル一式
- ・ Word エリア別人口 : CsvDocumenter で使用する、レポート雛型や定義ファイル一式
- ・ Word 都道府県別 : CsvDocumenter で使用する、レポート雛型や定義ファイル一式
- ・ Word 年齢別人口 : CsvDocumenter で使用する、レポート雛型や定義ファイル一式

②「csv」フォルダの内容

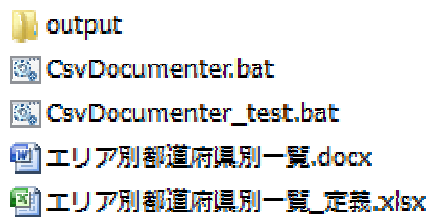
「サンプル」フォルダ内の「csv」フォルダ内は以下のファイルで構成されています
サンプルで利用する CSV データファイルとデータの解説があります

 AREA_JINKO.csv	2008/12/29 11:39	Microsoft Office Excel CSV ファイル
 NENREI_JINKO.csv	2009/01/13 11:21	Microsoft Office Excel CSV ファイル
 TODOUFUKEN_JINKO.csv	2009/01/13 11:30	Microsoft Office Excel CSV ファイル
 データの解説.txt	2009/01/16 10:44	テキスト ドキュメント

- ・ AREA_JINKO.csv : エリア別人口のデータ
- ・ NENREI_JINKO.csv : 年齢別人口のデータ
- ・ TODOUFUKEN_JINKO.csv : 都道府県別年齢別人口のデータ
- ・ データの解説.txt : 上記 3 CSV ファイルのデータの解説

③ 「Word エリア別人口」 フォルダの内容

「サンプル」フォルダ内の「Word エリア別人口」フォルダ内は以下の構成です



- ・ output：レポート出力結果が格納されるフォルダ
- ・ CsvDocumenter.bat：MenuCreator で使用するバッチファイル
- ・ CsvDocumenter_test.bat：MenuCreator を利用しない場合のバッチファイル（直接起動）
- ・ エリア別都道府県別一覧.docx：レポート雛型ファイル
- ・ エリア別都道府県別一覧_定義.xlsx：CSV データとレポート雛型の関連付けとファイル入出力の定義ファイル

「Excel エリア別人口」「Excel 都道府県別」「Excel 年齢別人口」「Word 都道府県別」「Word 年齢別人口」フォルダ内

「Word エリア別人口」フォルダと同様にサンプルファイル一式を格納しています

④実行手順

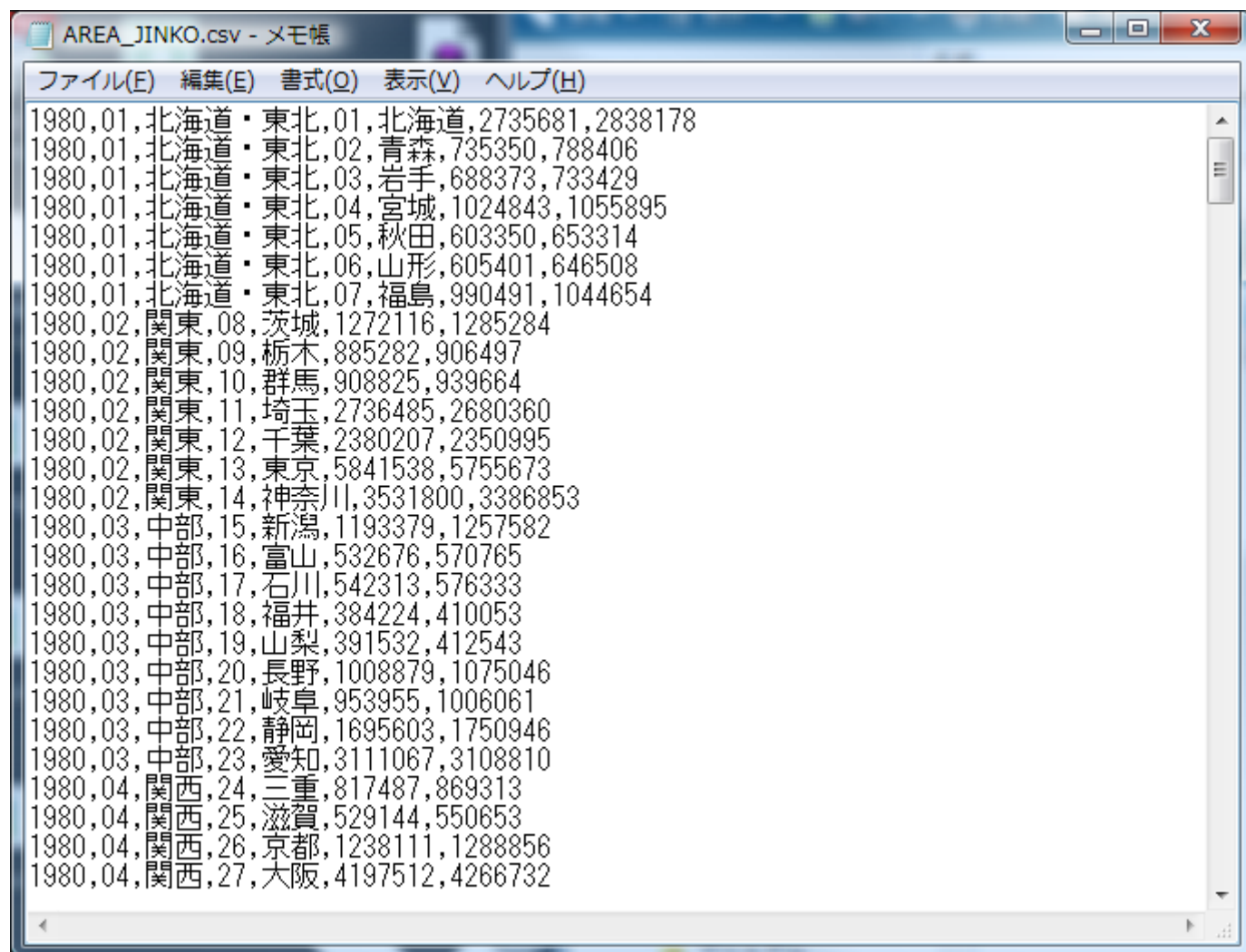
CsvDocumenter の実行（「Word エリア別人口」実行サンプル）

- 1) 「サンプル」フォルダ内の「Word エリア別人口」フォルダを開きます
- 2) CsvDocumenter_test.bat を実行します。バッチファイル内に条件等が設定されています。
- 3) output フォルダ内の年月日フォルダ内にある output 年月日時分秒.xlsx ファイルが作成された帳票です。

2 CsvDocumenter 構成ファイルの解説

①サンプル CSV ファイル 解説

1) AREA_JINKO.csv



データフィールド

[1]: 年度

[2]: エリアコード

[3]: エリア名

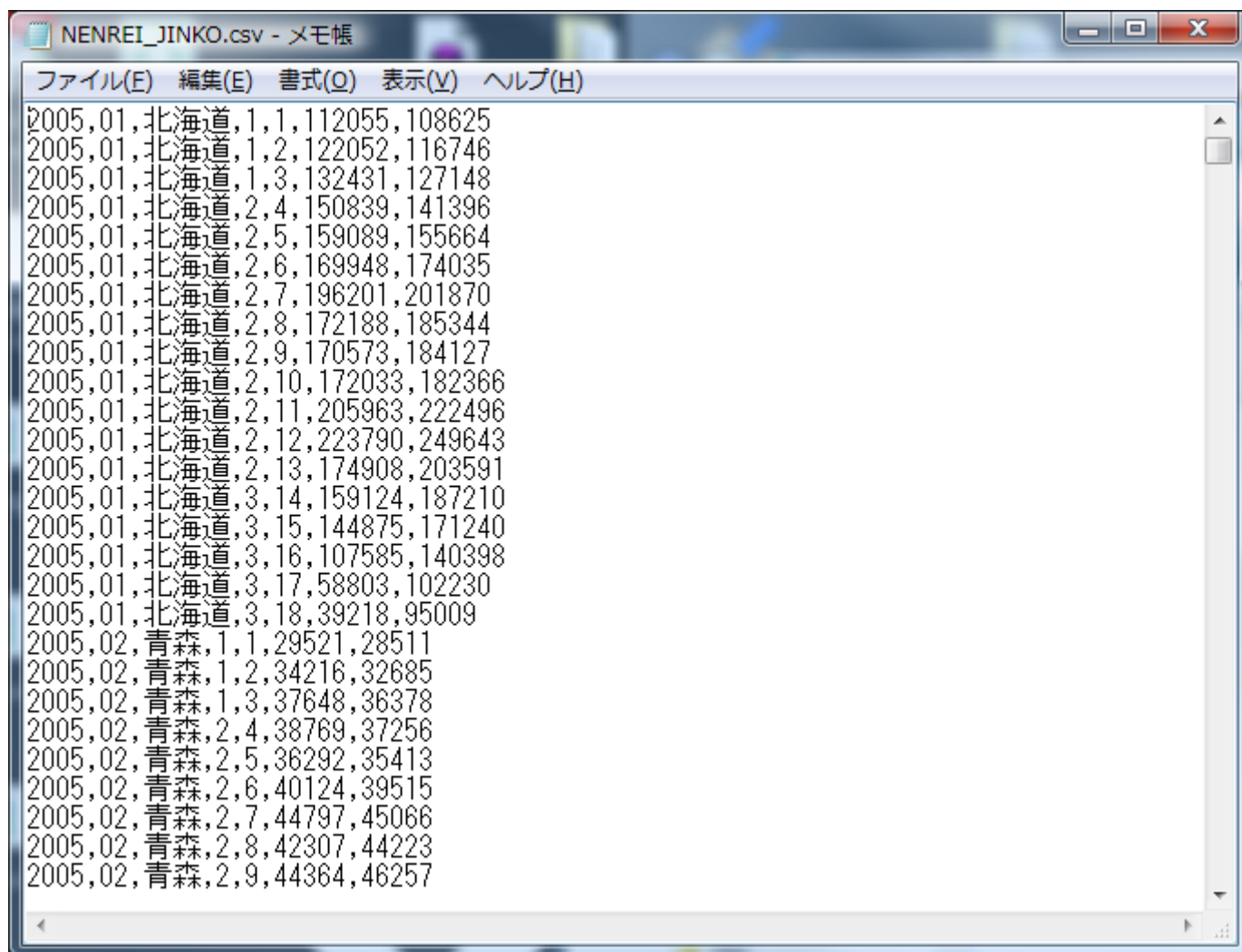
[4]: 都道府県コード

[5]: 都道府県名

[6]: 人口 (男)

[7]: 人口 (女)

2) NENREI_JINKO.csv



2005,01,北海道,1,1,112055,108625
2005,01,北海道,1,2,122052,116746
2005,01,北海道,1,3,132431,127148
2005,01,北海道,2,4,150839,141396
2005,01,北海道,2,5,159089,155664
2005,01,北海道,2,6,169948,174035
2005,01,北海道,2,7,196201,201870
2005,01,北海道,2,8,172188,185344
2005,01,北海道,2,9,170573,184127
2005,01,北海道,2,10,172033,182366
2005,01,北海道,2,11,205963,222496
2005,01,北海道,2,12,223790,249643
2005,01,北海道,2,13,174908,203591
2005,01,北海道,3,14,159124,187210
2005,01,北海道,3,15,144875,171240
2005,01,北海道,3,16,107585,140398
2005,01,北海道,3,17,58803,102230
2005,01,北海道,3,18,39218,95009
2005,02,青森,1,1,29521,28511
2005,02,青森,1,2,34216,32685
2005,02,青森,1,3,37648,36378
2005,02,青森,2,4,38769,37256
2005,02,青森,2,5,36292,35413
2005,02,青森,2,6,40124,39515
2005,02,青森,2,7,44797,45066
2005,02,青森,2,8,42307,44223
2005,02,青森,2,9,44364,46257

データフィールド

[1]: 年度

[2]: 都道府県コード

[3]: 都道府県名

[4]: 年齢区分1 (1: 0から14歳、2: 15から64歳、3: 65歳以上)

[5]: 年齢区分2 (1:[0~4歳] 2:[5~9] 3:[10~14] 4:[15~19] 5:[20~24] 6:[25~29] 7:[30~34]

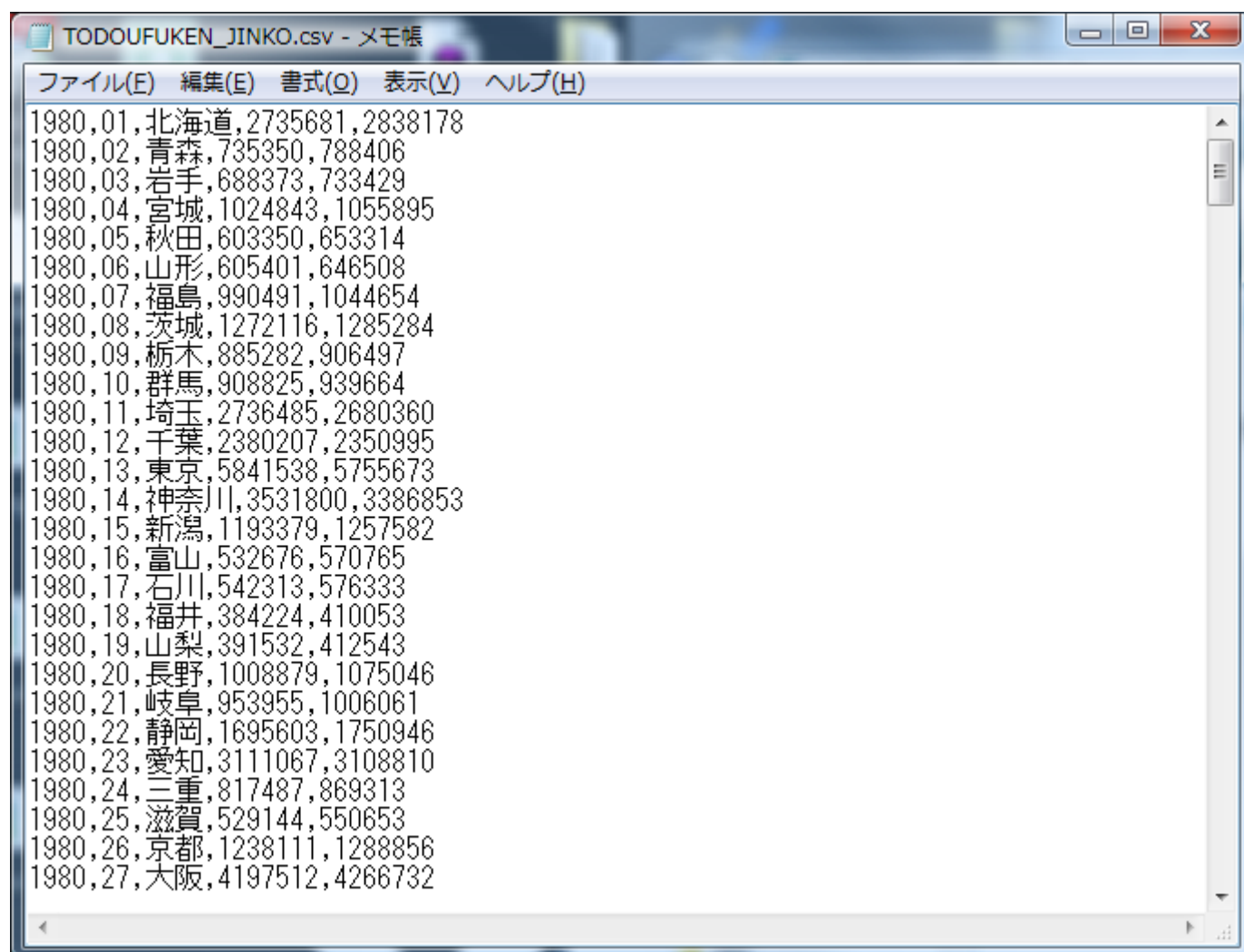
8:[35~39] 9:[40~44] 10:[45~49] 11:[50~54] 12:[55~59] 13:[60~64]

14:[65~69] 15:[70~74] 16:[75~79] 17:[80~84] 18:[85歳以上])

[6]: 人口(男)

[7]: 人口(女)

3) TODOFUKEN_JINKO.csv



ファイル(E)	編集(E)	書式(O)	表示(V)	ヘルプ(H)
1980,01,北海道,2735681,2838178	1980,02,青森,735350,788406	1980,03,岩手,688373,733429	1980,04,宮城,1024843,1055895	1980,05,秋田,603350,653314
1980,06,山形,605401,646508	1980,07,福島,990491,1044654	1980,08,茨城,1272116,1285284	1980,09,栃木,885282,906497	1980,10,群馬,908825,939664
1980,11,埼玉,2736485,2680360	1980,12,千葉,2380207,2350995	1980,13,東京,5841538,5755673	1980,14,神奈川,3531800,3386853	1980,15,新潟,1193379,1257582
1980,16,富山,532676,570765	1980,17,石川,542313,576333	1980,18,福井,384224,410053	1980,19,山梨,391532,412543	1980,20,長野,1008879,1075046
1980,21,岐阜,953955,1006061	1980,22,静岡,1695603,1750946	1980,23,愛知,3111067,3108810	1980,24,三重,817487,869313	1980,25,滋賀,529144,550653
1980,26,京都,1238111,1288856	1980,27,大阪,4197512,4266732			

データフィールド

[1]: 年度

[2]: 都道府県コード

[3]: 都道府県名

[4]: 人口 (男)

[5]: 人口 (女)

1) Word エリア別人口

[illegible]

セルに「ラベル名」として使用する「文字列」を設定します。

・条件ごとの集計（今回はエリアごとの集計）は、「指定条件」ごとに集計の設定ができますので、Access と帳票雛形の関連付け定義ファイル上で、「集計結果の出力設定」を行います。

※レポート雛形と ACCESS の関連付けは後ほど説明いたします。

■ファイルの保存

Word 2007 形式(docx)で保存します。Word 2007 であれば標準で、Word 2000-2003 であれば、Word 2007 ブック(docx)で保存します。

※Word 2000-2003 で Word 2007 ブックの保存ができない場合は、「Microsoft Office 互換機能パック」をインストールすることで対応可能になります。MS のサイトよりダウンロードしインストールしてください。
レポート雛形ファイルを保存します。ファイル名、シート名、ラベル名を記憶しておきます。

③ 定義ファイルの解説

1) Word エリア別人口

■Excel ファイルの構成 エリア別都道府県別一覧_定義.xlsx

AssainPartToI/O	FileName	SheetName	PageRowCount	CSVEncoding	CSVColumnNameFlag
InputWordFile	エリア別都道府県別一覧.docx		30		
InputCSVFile	¥csv¥¥AREA_JINKO.csv				
OutputWordFile	output¥Output<date><time>.docx				
OutputPdfFile					
OutputXPSFile					
OutputPrinter					

シート：IOFile・・・帳票レイアウト、CSV ファイル、出力帳票ファイルの定義を記述

シート：CsvColumnName・・・帳票ラベルと CSV データの関連付けを記述

(1)シート：IOFile の内容と設定

<InputExcelFile>

AssainPartToI/O	FileName	SheetName	PageRowCount	CSVEncoding	CSVColumnNameFlag
InputWordFile	エリア別都道府県別一覧.docx		30		

FileName：レポート雛形 Excel ファイル (Word/Excel2007 形式)

SheetName：レポート雛形 Excel シート名(Excel の場合)

PageRowCount：1 ページあたりのレコード数。設定したレコード数で改ページを行います。

<InputCsvFile>

AssainPartToI/O	FileName	SheetName	PageRowCount	CSVEncoding	CSVColumnNameFlag
InputCSVFile	¥csv¥¥AREA_JINKO.csv				

FileName：データとなる CSV ファイル

CSVEncoding：文字コードを指定 (空欄は Shift-Jis その他は記述する必要あり 例：簡体中国語：GB2312)

CSVColumnNameFlag：CSV ヘッダー行の有無 (*：アスタリスクを記載した場合=有)

<OutputExcelFile>

AssainPartToI/O	FileName	SheetName	PageRowCount	CSVEncoding	CSVColumnNameFlag
OutputWordFile	output¥Output<date><time>.docx				

FileName：作成する帳票ファイル (Word/Excel2007 形式)。<date>や<time>オプションをファイル名に含めることで、日付や時分秒を含めることができ、ユニークなファイル作成が可能です。ファイル名が重複した場合は強制的に上書きします。

<OutputPdfFile、OutputXPSFile、OutputPrinter>

AssainPartToI/O	FileName	SheetName	PageRowCount	CSVEncoding	CSVColumnNameFlag
OutputPdfFile					
OutputXPSFile					
OutputPrinter					

FileName：それぞれの形式で出力する場合のファイル名/プリンタ名

※電子文書形式やプリンタで出力するには CsvDocumenter の Enterprise 版と MicrosoftOffice2007 が必要です。体験版では利用できません。

(2)シート：CSVColumnName の内容と設定

OutputLabelName	CSVColumnNo	ColumnExpression	ColumnFilter	ColumnType	FormatString	PageBreakFlag	AscSort	DescSort
NENDO	[1]年度			string		*	1	
AREA_CD	[2]			string		*	2	
AREA	[3]			string				
TODOFUKEN_CD	[4]			string			3	
TODOFUKEN_MEI	[5]			string				
JINKO	[6]+[7]			decimal	###0			
JINKO_M	[6]			decimal	###0			
PER_JINKO_M	[6]/([6]+[7])			decimal	#.0%			
JINKO_F	[7]			decimal	###0			
PER_JINKO_F	1-([6]/([6]+[7]))			decimal	#.0%			
SUM_JINKO		SUM([6])+SUM([7])	[1],[2]	decimal	###0			
SUM_JINKO_M		SUM([6])	[1],[2]	decimal	###0			
SUM_PER_JINKO_M		SUM([6])/SUM([6]+SUM([7]))	[1],[2]	decimal	#.0%			
SUM_JINKO_F		SUM([7])	[1],[2]	decimal	###0			
SUM_PER_JINKO_F		1-(SUM([6])/SUM([6]+SUM([7])))	[1],[2]	decimal	#.0%			

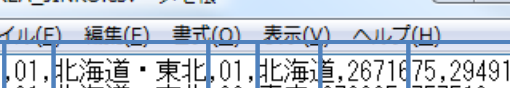
- ・ OutputLabelName：レポート雛形のラベル名
- ・ CSVColumnName：CSV データの項目番号または項目番号による加減乗除と「() (カッコ)」による演算式を設定します

ColumnType が string の場合はフィールド名の前後に文字列を付けることも可能です

- ・ ColumnExpression：集計式を記述し、「ColumnFilter」に応じた計算を行ないます
- ・ ColumnFilter：集計式を実行する集計条件を記述
- ・ ColumnType：帳票へ値を送る際の型 「string：文字列」「decimal：数値」「datetime：日付」
- ・ FormatString：Word 帳票レイアウト出力時の文字列書式設定
- ・ PageBreakFlag：改ページを行う条件「* (アスタリスク)」を設定すると、該当する CSVColumnName のデータのいずれかが変わった際に改ページを行います
- ・ AscSort：並べ替え（昇順） 並べ替え順に数値を設定します
- ・ DescSort：並べ替え順（降順） 並べ替え順に数値を設定します

④帳票ラベルと CSV データの項目番号の関連付け

「サンプル CSV ファイル」 AREA_JINKO.csv



AREA_JINKO.csv - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

2005	01	北海道・東北	01	北海道	2671675	2949138
2005	01	北海道・東北	02	青森	678865	757512
2005	01	北海道・東北	03	岩手	660785	720023
2005	01	北海道・東北	04	宮城	1145473	1208955
2005	01	北海道・東北	05	秋田	540252	604736
2005	01	北海道・東北	06	山形	584666	630930
2005	01	北海道・東北	07	福島	1015774	1074114

[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7]

「定義ファイル」エリア別都道府県別一覧 定義.xlsx CSVColumnName シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
	OutputLabelName	CSVColumnNo	ColumnExpression	ColumnFilter	ColumnType	FormatString	PageBreakFlag	AscSort	DescSort
①	NENDO	[1]年度			string		*	1	
②	AREA CD	[2]			string		*	2	
	AREA	[3]			string				
	TODOFUKEN CD	[4]			string			3	
③	TODOFUKEN MFL	[5]			string				
④	JINKO	[6]+[7]			decimal	###0			
⑤	JINKO M	[6]			decimal	###0			
⑥	PER JINKO M	[6]/([6]+[7])			decimal	#.0%			
⑦	JINKO F	[7]			decimal	###0			
⑧	PER JINKO F	1-([6]/([6]+[7]))			decimal	#.0%			
⑨	SUM JINKO		SUM([6])+SUM([7])	[1],[2]	decimal	###0			
⑩	SUM JINKO M		SUM([6])	[1],[2]	decimal	###0			
⑪	SUM PER JINKO M		SUM([6])/(SUM([6])+SUM([7]))	[1],[2]	decimal	#.0%			
⑫	SUM JINKO F		SUM([7])	[1],[2]	decimal	###0			
⑬	SUM PER JINKO F		1-(SUM([6])/(SUM([6])+SUM([7])))	[1],[2]	decimal	#.0%			

「レポート雛形ファイル」 エリア別都道府県別一覧.xlsx 「レポート出力結果ファイル」 Output 年月日.xlsx

[illegible][illegible]

3 アプリケーションの起動 CsvDocumenter_test.bat

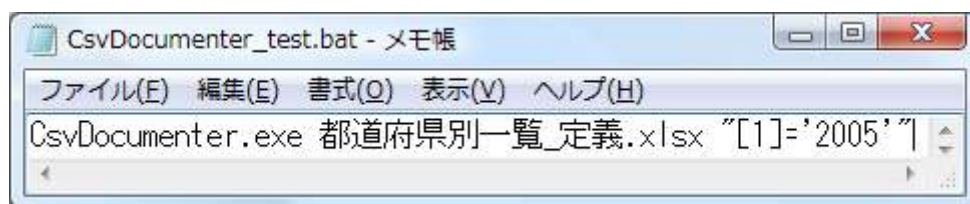
※CsvDocumenter 実行バッチファイルはネットワーク上では実行できない為ネットワーク以外の場所で行って下さい

記述方法 CsvDocumenter.exe 定義ファイル名 条件1

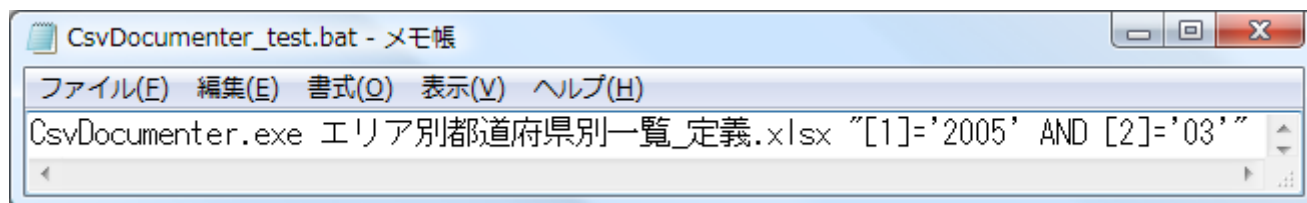
条件1：CSV ファイルに対して抽出条件を記述します

抽出条件は「“ “（ダブルコーテーション）」で囲んで記述します。

Sample①：CSV ファイルのデータ項目1つめのフィールドが'2005'のみのレコードを抽出
(2005 年度の意)



Sample②：CSV ファイルのデータ項目1つめのフィールド値が'2005'で、かつデータ項目2つめのフィールド値が'3'のデータのみ出力 (2005 年度中部エリアの意)



※条件値が文字列の場合は値を「' '（シングルクォーテーション）」で囲んで記述します。

(定義ファイル CSVColumnName シートの ColumnType で「string：文字列」を指定した場合)